

## プログラムの概要

森林科学科の特色は、森林の育成・管理から生産物の加工利用までの一連の流れを基軸とし、森林の持つ木材生産機能と環境保全機能を総合的に学修する点にあります。本学科の授業科目は、自然科学系から社会科学系までの幅広い分野から構成されているが、特に演習林を主体とした実践的野外実習が重視されており、森林に関わる専門分野の基礎から応用にいたる科目と、実習科目が有機的に組合わされたカリキュラムとなっています。

## 修了認定の基準（ディプロマ・ポリシー）

森林科学科では、以下の(A)～(G)を学修・教育目標として定め、これらを到達目標としています。修了認定は所定の単位を取得するとともに、学科独自の評価スコアを用います。学修・教育目標ごとに評価スコアの最低基準が設けられており、この基準を全て満たした場合修了が認定されます。

- (A) 森林科学の学修を進める上で必要となる、語学、情報処理、専門基礎の知識と思考力を高め、地球的、地域的両面の視野から物事を判断、理解する能力を身につける。
- (B) 栃木県内に展開する林業生産現場や演習林を活用し、森林の育成・管理から、生産・加工利用にいたる一連の生産活動の流れと森林の持つ多面的な機能を理解する。さらに、森林における生産活動が社会及び自然環境に及ぼす影響を総合的に理解し、評価する能力を身につける。
- (C) 森林生態系及びその構成要素である生物に関する遺伝子レベルから生態系レベルまでの生物学的知識を修得し、生物多様性の保全、森林の育成・修復などの管理技術を身につける。
- (D) 森林資源の持続的利活用のために必要となる計測技術、管理計画、森林政策に関する知識を修得する。また、森林の社会的な役割、位置づけを理解し、森林に関する管理計画、政策を立案する能力を身につける。
- (E) 森林の保全と森林生産のための基盤整備に関する数学・物理学・工学的知識を修得する。また、森林生産に関する技術、環境への影響を理解し、作業システムをデザインできる能力を身につける。
- (F) 森林資源の利活用を行うための生物学、化学、物理学などの専門知識を修得し、木質資源などの利用のための新技術を開発・活用できる能力を身につける。
- (G) 森林科学全般の知識を基礎とし、森林資源の生産・利用現場からの要求に応えうる研究実行力、技術開発力、成果のまとめと公表が行える能力を身につける。また、研究・技術開発の成果が、社会及び生活環境に及ぼす影響を多面的な視点から理解する能力を身につける。

## 履修条件（アドミッション・ポリシー）

### 1. 求める学生像

自然科学と社会科学の基礎学力を有し、持続可能な森林の育成、林業・林産業について実践的に学修しようとする者。

### 2. 入学者選抜の基本方針

高等学校の教育課程を尊重し、自然科学と社会科学の基本的な学力と思考力を備えているかどうか評価します。森林・林業分野への熱意、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

## 学修・教育目標を達成するためのカリキュラム方針（カリキュラム・ポリシー）

森林科学科では、授業の科目群を1) 基軸科目（導入、総合）、2) 専門基礎科目群および3) 専門科目群（育林学、森林社会科学、森林工学、林産学の4教育分野）の3つに区分しています。基軸科目（導入）は以後の学修をして行く上で不可欠な科目群であり、専門基礎科目は、各教育分野の専門科目を理解するのに必要となる科目群です。また、専門科目は、森林科学の学生が必ず修得すべき学修領域が必修科目として設定されており、さらに各自が希望する専門選択科目を学修することによって森林、林業、林産業に対する専門知識を深めていく科目が設定されています。基軸科目（総合）は、森林科学の思想と技術を学修・修得した後、さらに専門家としての資質を高めるために設定された科目群です。これらの科目群について1～4年次に順次学修します。

# 森林科学科 カリキュラムツリー

		1年次		2年次		3年次		4年次
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
<b>森林科学科の専門科目</b> フォレストラーとしての総合力を身につける 森林・林業・林産物に関する専門知識を身につける 森林科学の全体像を理解する 森林科学を学ぶのに必要な基礎を身につける 農学の基礎を学ぶ 現代社会で活躍する人のリテラシーを培う 幅広い分野の専攻と関心のある分野を学ぶ	育林学分野 森林生態学 森林計測学 森林生産経済学 森林計測学実習	森林生態学 森林生態学 森林計測学 森林生産経済学 森林計測学実習	森林生態学 森林生態学 森林計測学 森林生産経済学 森林計測学実習	森林生態学 森林生態学 森林計測学 森林生産経済学 森林計測学実習	森林生態学 森林生態学 森林計測学 森林生産経済学 森林計測学実習	森林生態学 森林生態学 森林計測学 森林生産経済学 森林計測学実習	森林生態学 森林生態学 森林計測学 森林生産経済学 森林計測学実習	森林生態学 森林生態学 森林計測学 森林生産経済学 森林計測学実習
	森林科学論Ⅰ 基礎実務 樹木学 樹木学実習 森林基礎化学 新入生セミナー 農業と環境の科学 農学情報実習 Integrated English IA Integrated English IB 情報処理基礎 スポーツと健康	森林科学論Ⅱ 基礎実務 森林基礎生物学 森林基礎経済学 基礎統計学 森林測量学Ⅰ 森林測量学Ⅱ実習						
<b>基礎教育科目</b> 教養科目：人文科学系科目・社会科学系科目・自然科学系科目・自然科学系科目・総合系科目・初習外国語系科目・基礎キャリア教育科目	森林科学総合実習 森林科学特別講義Ⅱ	森林科学総合実習 森林科学特別講義Ⅱ	森林科学総合実習 森林科学特別講義Ⅱ	森林科学総合実習 森林科学特別講義Ⅱ	森林科学総合実習 森林科学特別講義Ⅱ	森林科学総合実習 森林科学特別講義Ⅱ	森林科学総合実習 森林科学特別講義Ⅱ	<b>卒業論文</b>

## 学習・教育目標

- (I) 森林科学の知識を基礎とし、森林資源の生産・利用環境からの要請に応える研究実行力、技術開発力、成果のまとめと発表が可能な能力を身につける。また、健康・精神面からの成長が、社会及び生活環境に及ぼす影響を多面的な視点から理解する能力を身につける。
- (II) 森林生態学及びその構成要素である生物に関する遺伝子レベルから生態系レベルまでの生物学的知識を習得し、生物多様性の保全、森林の育成・管理などの管理技術を身につける。
- (III) 森林資源の価値的活用目的のために必要となる計測技術、管理計画、森林動態に関する知識を習得する。また、森林の社会的な役割、位置づけを理解し、森林に関する管理計画、施策を立案する能力を身につける。
- (IV) 森林の産出と森林産業のための基礎知識に関する数学・物理学・工学の知識を習得する。また、森林生産に関する技術、環境への影響を理解し、作業システムをデザインできる能力を身につける。
- (V) 森林資源の利活用を行うための生物学、化学、物理学などの専門知識を習得し、木質資源などの利用のための新技術を開発・活用できる能力を身につける。
- (VI) 都市圏内に展開する林業生産現場や実習林を活用し、森林の育成・管理から、生産・加工利用にいたる一連の生産活動の流れと森林の持つ多面的な価値を理解する。さらに、森林における生産活動の社会及び自然環境に及ぼす影響を総合的に理解し、評価する能力を身につける。
- (VII) 森林科学の学習を進める上で必要となる、数学、情報処理、専門基礎の知識と思考力を高める。地理的・地域的関心の分野から影響を理解し、理解する能力を身につける。